

おむすびのメッセージ

呉市立広小 三年 相原 直

毎朝、玉子やきと、お米のたけるおいで
目がさめる。ぼくのお兄ちゃんは、四月から
中学生。中学校のお昼ごはんは、お弁当だ。
小学生のぼくは、学校の給食。ぼくは給食も
大好きだけど、お母さんのお弁当を毎日持っ
ていけるお兄ちゃんのことがかうやましい。
ぼくにもお弁当の日がある。ぼくは剣道を
習っている。その試合の日には、ぼくもお弁

当。剣道の試合は休けい時間がは、ぎりしな
いので、おむすび弁当だ。ぼくは、このお弁
当がすごく楽しみ。お母さんに、こゝそり、
「今日のおむすびの中身は」
と聞くと、お母さんはかならず、
「ひみつ」。

と言う。ぼくは、中身を当ててやろうと思
い、いろいろ言ってみる。お母さんはニツ
コリあ
らうだけで教えてくれない。ぼくは、何
度も
中身を聞くけれど、ひみつだから楽しい。自

分の試合が終わった。お昼ごはんの時間。
試合に勝った後のおおすびは、いつもよりお
いしい。試合に負けた後のおおすびは悲しく
なるけど、食べるとがんばるぞと元気が出る。
おおすびなのにお母さんのメツセージが伝わ
ってくる。おおすびの中身は、にたまご、焼
肉、鮭、ツナマヨキムチ、そばろ、梅おかか。
食べたことのない初めての具も多い。でもど
れもすごくおいしい。ぼくは、おおすびを食
べた後、お母さんにその日のおおすびの名前
を聞く。お母さんは、勝ちうまおすび、びっ
くりおすび、ばくだんおすび、くやしいなく
なおすび。いろいろな名前をつける。ぼくは、
お母さんのメツセージの二回目をし、かり受
けとり、元気が出る。
おおすびでおなかも心もいっぱいになる。
中身のつま、たばくだけのお昼ごはん。これ
からも、このおおすび弁当とともに、剣道も
心も強くなりたい。